

「今月の1枚」



写真1 シイの花が咲いたところがクリーム色に染まる
(2011年5月8日、高知県高知市朝倉にて撮影)



写真2 立木全体に雄花が咲いた
(2011年5月8日、高知県牧野植物園にて撮影)



写真3 シイの雄花。新葉の展開と共に花が咲く
(2011年5月7日、高知県横浪半島にて撮影)



写真4 雄花の拡大図。一つの花序に多数
の花がついている

(2011年5月7日、高知県横浪半島にて
撮影)

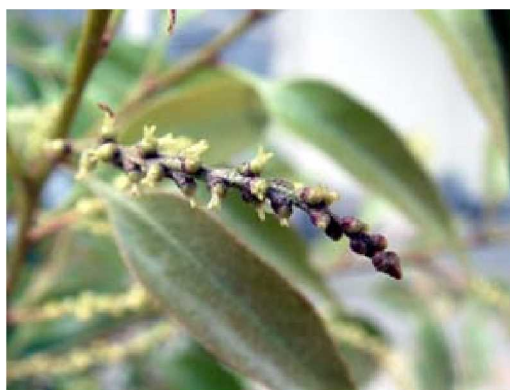


写真5 シイの雌花。花弁がなく柱頭が3
本見える

(2011年5月17日 支所構内にて撮影)

シイの花 (ブナ科シイ属) *Casanopsis* spp.

四国では5月になると常緑樹林がクリーム色に染まります。原因はシイの雄花で、クリの花に似た香りも漂ってきます。シイの雄花は虫媒花で、虫に花粉を運んでもらいます。雌花も目立たずに咲いて、翌年の秋になると椎の実になります。シイはスダジイとコジイがあり、葉の大きさや堅果（どんぐり）の形状で区別しますが、中間的なものも多くて判断がつかないこともあります。

(写真・文：酒井 敦)

(No.220 2011. 5.17 掲載)